



平成 28 年 4 月 14 日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピ[®]テクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4 5 7 6)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 0 5 2 - 2 1 8 - 8 7 8 5

緑内障治療剤「H-1337」の米国等における戦略的オプション付 基本契約書締結の件

当社が創製した緑内障治療剤「H-1337」につき、米国の Allysta Pharmaceuticals, Inc. (以下、「Allysta」) に対して、米国を含む 4 つの国・地域 (米国、EU、オーストラリア、中国 (以下、「米国等」)) における戦略的オプション付基本契約を締結することを本日決定いたしましたのでお知らせいたします。

本契約は、当社と Allysta が戦略的に協働して行う新たなビジネスモデルであり、当社が保有する「H-1337」の開発の確度、ならびにスピードを高めることを目的としております。本契約により、「H-1337」は緑内障を適応症とした POC (Proof of Concept : 創薬概念の検証) 試験を推進すると共に、POC 取得後の米国等におけるオプション権を Allysta に付与しております。

当社は、現在パイプラインの拡充と事業領域の拡大について戦略的に取り組んでおりますが、この契約により外部との協働を進めながら、パイプラインの価値の向上を目指すことが可能となります。

本契約後、「H-1337」は当社費用で米国での開発を開始し、平成 30 年度中に前期第 II 相臨床試験を終了する予定となっております。前期第 II 相臨床試験終了後、一定の条件下で Allysta が本契約のオプションを行使した場合には、Allysta へライセンスアウトをすることになり、最大総額 97 百万米ドルのマイルストーンフィーを受領することになります。

なお、本件による平成 28 年 12 月期連結業績予想に変更はございません。

H-1337 について

プロテインキナーゼ阻害剤^(注 1)を中心とする当社化合物ライブラリー^(注 2)のリード化合物を基にして最適化された、緑内障・高眼圧症を適応症とする開発品です。本剤は、LRRK を中心とした各種プロテインキナーゼ^(注 3)を阻害するマルチキナー

ゼ阻害剤であり、線維柱帯－シュレム管を介して主流出路からの房水流出を促進し眼圧を下降させることが示唆されております。その強力な眼圧下降作用は、長時間持続することが動物試験等で確認されております。

Allysta Pharmaceuticals, Inc.

Allysta の創業者である Henry Hsu, MD は、医学博士としての知見を基に複数の治療分野における臨床開発責任者としての経験があるだけでなく、IND 申請の監督や臨床開発グループの構築や指導に長けておられ、さらには、米国のバイオベンチャー Altheos, Inc. の共同創設者かつ CEO として、32 百万米ドルを超える資金調達や緑内障治療剤の導入、リード化合物を臨床試験へ進める等、数多くの実績をあげられております。同氏は、眼科をはじめとする広範囲における分野での専門知識を有しておられ、今後は、同氏を主体として臨床開発を進めてまいります。

以 上

用語解説

(注1) 阻害剤

生体内の様々な酵素分子に結合して、その酵素の活性を低下若しくは消失させる物質を指します。化学物質が特定の酵素の活性を低下若しくは消失させることにより、病気の治療薬として利用されることがあります。

(注2) 化合物ライブラリー

化合物ライブラリーとは、当社が長年にわたり蓄積してきた新薬候補化合物のタネとなる化合物群です。これらの化合物の一つ一つが特徴的な性質を有しており、基礎研究や新薬候補化合物発見に利用されます。

(注3) プロテインキナーゼ

ATP(アデノシン三リン酸と言われ、体内で作られる高エネルギー化合物)等、生体においてエネルギーの元となる低分子物質等のリン酸基を、タンパク質分子に転移する(リン酸化)酵素です。一般にリン酸化を触媒する酵素をキナーゼと呼び、特にタンパク質をリン酸化するキナーゼをプロテインキナーゼと言います。